

検定とは？ 資格とは？

検定試験とは、ある特定の物事に対する理解度を測るためのテストのような性質を持っているもので、広い意味では、公的資格、民間資格とに、分けられるようです。

▶ 公的資格

国家資格の場合でいうと、業務等に関連したある行為を行うことを、国家が定めた行政組織により付与された地位を指す資格です。

▶ 民間資格

民間資格とは、民間団体や企業が、独自の審査基準を設けて任意で認定する資格のことを言います。企業によっては、国家資格や公的資格と同様に、知識や技能があるものとして広く認知されている資格や、直接職業に結びつく資格もあり、認知されている信用度、価値のレベルが高いほど、資格取得が困難になっている傾向があります。

これらの資格の場合は、権限者への申請、試験等により権限者がその権限に基づいて付与する。しかしながら、絶対的な資格ではないわけです。

また、検定試験のほか、認定試験等の名称の種類もあり、その性質は検定試験に類似しています。資格に類似して、一定の能力があることを、確認権限者により確認された立場をも指すことがあり、その確認、証明方法として検定試験があるようです。

一般に検定試験は、有資格を確認するという性質ではなく、知識や技能などの水準を級分けて証明することが多いという違いがあるようです。

ただ資格を作るだけなら、今この瞬間に「〇〇検定」を作った！」と宣言するだけで、民間資格の「出来上がり」だそうで、現状では、特別の法的規制などはないようです。

▶ 資格商法(サムライ商法などとも言います)

民間資格は、法律によって制度化されていないので、資格の有効度などの言葉を巧みに利用した商法も数多く存在します。

パソコンの資格について

さまざまな種類のパソコンに関する資格がありますが、それらは大きく分けて2つに分類されます。ベンダー資格と国家資格とに、分けられるようです。

▶ 国家資格

名前のおり、国家による資格試験をクリアした人に対して与えられるものです。

「国家資格」はパソコンの場合、経済産業省が実施している「シスアド試験」が、有名です。

▶ ベンダー(企業)資格

民間資格の種類で、IT関係の民間企業やメーカーが、自社の製品に関する知識や技術を持つ人に対して、その能力を認定するものです。ベンダー認定資格とも言います。

代表的なベンダー認定資格としては、マイクロソフト社主催のMOSやMCASなどがあります。

この資格のように、民間企業が自社製品に関する知識や技能をどこまで持っているのかを認定する資格試験です。

要するに、ベンダーとは、OS、ソフトウェア、ハードウェアのメーカーや販売代理店、FC系のパソコン教室のインストラクター資格などを指します。

▶ 「国家資格とベンダー資格」の比較

両者の違いはどこにあるのか？

シスアドに代表される国家資格試験の例だと、この試験は、基本的な考えかたを問うもので、パソコンの技術が進歩しても変化しない普遍的な考え方が問われます。

それに対して、ベンダー資格は**ある製品に対してのスキルを問うもの**となっています。

パソコンに限らず、広い分野で「国家規格」はあるので、そのイメージはわかりますよね。

これに対し「ベンダー資格」は、初めて聞いた方も多いと思います。

両者は共にパソコンの技能を高め、その実力を客観的に認める点では同じですが、「ベンダー資格」の場合は、製品そのものの衰退や大幅な改良等が行われた場合に、資格者価値は変化することも考えられます。

その反面「国家資格」の場合は、基本的な知識や考え方を問うコンセプトに立っているため、一つのテーマに対しても普遍的な考え方を求める公的資格試験となっているので、厳密に言えば『パソコン』には、**国家資格はまだありません。**

誤解しやすいですが、シスアドの試験内容も、『パソコン』に関する部分は、ほんの一部に過ぎません。

『パソコン』という言葉は、Personal Computer（個人のパソコン）という意味です。

よって、コンピュータを使って、部門内の情報化をエンドユーザの立場で推進し、問題発見・解決能力があるかどうかを試す試験です。

求職のための「パソコンに関わる資格」

現代社会では、正社員のみならず、パートやアルバイトの求職であっても、「パソコンの出来る人」という条件が記載されていることが多いです。

しかし、パソコンの資格といっても、一般的な事務に役立つ資格から専門的な資格までさまざま、求人を出している、その会社のいう「**パソコンの出来る人**」とは、**どのレベルを指しているのか**が不明です。

A社は「入力操作ができればよい」

B社は「自社特有のアプリケーションが操作できればよい」

C社は「Word や Excel を使って、自分で、何かが作れることが必要」

D社は「顧客とのメールのやりとりが必要、HP管理をしてほしい」

どちらにしても、パソコンに触れる程度では話になりません。

「パソコン出来ます！」と口頭で言うのと、「パソコンを使った仕事ができる能力」を証明するものがあるのでは、かなり違うと思います。

「パソコンを使った仕事ができる能力」を証明するものとは？

勿論、有名なベンダー資格は、ある意味、いち押しでしょう。

しかし、「有名な資格」とは？ 面接者も、その資格を知らなければ、意味がうすいです。

また、この試験(次ページ概要を参照)を考えるキッカケになった生徒さんの「悲しいお顔」です。

私は、なんとか、「頑張ることに意味を感じるモノにしたい」という思いから、消費者センターや行政書士さんや、いろんな方に相談しました。そして、結論に至りました。

パソコンに関する資格が欲しいのであれば、やはり学習することが必要ですが、頑張る「受験勉強」の内容が、その人の求職希望の会社やお店の仕事に役立つ内容でない場合もあります。

ただ、誤解してほしくないのは、「有名なベンダー資格」を否定しているわけではありません。

資格の種類も非常にたくさんありますので、どの資格が自分にとって役立つ資格なのかを判断し、該当するものがないようであれば、**普段の仕事力に直結するパソコン学習の習熟度を証明するもの**を取得するのも、ひとつの方法だと思います。

《♪パソコンこん♪オリジナルの「パソコンを使った仕事ができる能力」を証明するもの》概要

☞ 試験名称：パソコン仕事力認定試験

☞ 試験範囲

「パソコン教室《パソコンこん》オリジナルテキスト」のレベル（同レベルの実務能力も含む）の習熟度について、認定証を取得出来得るに達しているのかを図るための「試験範囲」です。

☞ 試験の構成

試験種類		出題数	時間	合格基準
《パソコン仕事力認定試験 OS_Windows 編》	実技	25 問	45 分	正解率 80 点以上／100 点
《パソコン仕事力認定試験 Word 編》	筆記	16 問	50 分	正解率 70 点以上／100 点
	実技	200 問	120 分	正解率 160 点以上／200 点
《パソコン仕事力認定試験 Excel 編》	筆記	15 問	50 分	正解率 70 点以上／100 点
	実技	200 問	120 分	正解率 160 点以上／200 点

☞ 試験の環境

OS：Windows XP、Windows Vista、Windows7 のいずれかご希望の OS にて受験できます。

Office（Word・Excel）：2003、2007、2010 のいずれかご希望の Office にて受験できます。

☞ 試験の運営及び実施：パソコン教室《パソコンこん》

☞ 試験の形式

試験の形式は、筆記試験と実技試験に分かれています。

筆記試験については、当教室のパソコンを使って、操作確認をしながらの解答も「可」です。

実技試験については、当教室のパソコンを使って、問題の指示に従い、解答となる操作をします。

☞ 試験合格基準と合格認定について

上記表を参照ください。筆記と実技と両方の合格基準をクリアした場合に、合格となります。

合格者には、「パソコン仕事力 ○○編 認定証」と、第三者に理解できる「認定内容詳細の説明書」を発行いたします。（※認定内容詳細の説明書については、当教室在籍者の方のみ適応）



☞ 受験資格：どなたでも受験できます。

☞ 願書受付期間と試験日：特に設けません、予約（土日祝、夜間も、OK）により、随時受験可能です。

☞ 受験申し込み方法：事前にご予約ください。また、当試験は「受験票」等は発行いたしませんので、ご了承ください。受験料のご入金を添えたお申込みで受験日をご予約されたことにより、受験申し込みの確定となります。なお、受験日ご予約の変更は可能ですが、キャンセルは不可です、キャンセル時の受験料のご返金はできませんので、ご了解をお願いいたします。

☞ 試験会場：当教室

☞ 受験料金：再受験 1 回受験料を含みます（※再受験ナシの場合はご返金があります、詳細は別紙参照）

当教室 在籍生徒様とOB生徒様 用 の 受験申込書



お名前 _____ 様 **受験申込書** (当教室 在籍生徒様とOB生徒様 用)

受験希望種類に、受験希望日を記入し、受験の希望 Ver に、○印をつけてください。

この「受験申込書」に、該当する受験料を添えてご入金ください。

パソコン仕事力認定試験			受験希望日	受験希望 Ver
試験種類	受験料 (税込)			
OS_Windows 編	2600 円	実技(※再試験なし ¥500 返金)	月 日() : ~	XP・Vista・7
	2800 円			
Word 編	4800 円	筆記(※再試験なし ¥300 返金)	月 日() : ~	03'・07'・10'
	5000 円	実技(※再試験なし ¥700 返金)	月 日() : ~	03'・07'・10'
Excel 編	4800 円	筆記(※再試験なし ¥300 返金)	月 日() : ~	03'・07'・10'
	5000 円	実技(※再試験なし ¥700 返金)	月 日() : ~	03'・07'・10'
受験料 合計		¥		

「パソコン仕事力認定試験」の説明を受け、概要を承諾したうえで、受験申し込みをします。サイン _____ (印)

ビジター様 用 の 受験申込書

もともとが、在籍生徒さんのために、発想したことなのですが、在籍生徒さんのために、安易に合格できる水準のものではございません。そして、決して、パソコンの資格として、メジャーなものでもございませんが、パソコンのスキルを確認しておきたい方にもお知らせすることにしています。

トライしてみようと思われる方は、お問い合わせください。



お名前 _____ 様 **受験申込書** (ビジター様 用)

受験希望種類に、受験希望日を記入し、受験の希望 Ver に、○印をつけてください。

この「受験申込書」に、該当する受験料を添えてご入金ください。

パソコン仕事力認定試験			受験希望日	受験希望 Ver
試験種類	受験料 (税込)			
OS_Windows 編	2800 円	実技(※再試験なし ¥500 返金)	月 日() : ~	XP・Vista・7
	3000 円			
Word 編	5800 円	筆記(※再試験なし ¥300 返金)	月 日() : ~	03'・07'・10'
	6000 円	実技(※再試験なし ¥700 返金)	月 日() : ~	03'・07'・10'
Excel 編	5800 円	筆記(※再試験なし ¥300 返金)	月 日() : ~	03'・07'・10'
	6000 円	実技(※再試験なし ¥700 返金)	月 日() : ~	03'・07'・10'
受験料 合計		¥		

「パソコン仕事力認定試験」の説明を受け、概要を承諾したうえで、受験申し込みをします。サイン _____ (印)

※ 重要

ビジター様は、お手数ですが、事前に [パソコン仕事力 認定試験 お申込み](#) よりお問合せください。